

徹底して住民サイドに立つ市政へ！ 市議会へ！

津久井 清のプロフィール



津久井 清の 2020年1~2月号 117号

共育だより 立憲民主党

発行：津久井 清と共育の会 〒273-0136 鎌ヶ谷市佐津間 2-6 津久井自宅 ☎047(444)5262 [FAX 兼用] e-mail: ktsukui@air.linkclub.or.jp

早稲田大学卒業後、(鎌)中部小、(鎌)四中・鎌中の社会科教師として21年間勤めました。市議としては、市民派議員として「教育充実」「住民と共に住環境改善の戦い」などに力を入れています。これまでに議会報告「共育だより」を117号発行。議会終了後には市議会報告会を開き、市民とのツーウェイ(相互交流)を進めています。

12月市議会で津久井議員は、「北千葉道路の進捗に伴い、県道船橋我孫子線との交差部はどうなるのか」と「台風15号の来襲に伴い、鎌ヶ谷市の被害状況と今後の教訓点・改善点は何か」2点亘り一般質問を行いました(12月6日質問日)。 一読頂ければ幸いです。



《北千葉道路と県道船取線との交差部の問題点》

《台風15号の被害と今後の教訓》

① 北千葉道路と県道船取線との交差部は？

① 市内での「停電被害」の原因は？

国・県が主導して、成田～鎌ヶ谷～市川を結ぶ北千葉有料高架道路が計画されています。北千葉道路と県道船取線との交差部は、船取本線が北千葉道路で塞がれ、副道迂回となり、直進のできない分断状態の計画案となります。

市内の停電は4400戸に及び、原因は倒木や飛来物によるとのこと。津久井宅にも「冷蔵庫が使えない。早急な復旧を！」の電話が殺到。市の担当へ要望。市から東電への強い要請もあり、9日午後7時頃には停電が解消されました。

(裏面の略図を参照)

② 公聴会での住民の声は？

② 「洪水ハザードマップ」以外での水害は？

10月5日、千葉県主催で北千葉道路関連についての住民公聴会が開かれ、8人の鎌ヶ谷市住民が意見を述べました。住民の公述内容は「車は県道船取線を直行できるようにしてほしい」「人、自転車も直行できるように・・・」「過去に県道船取線新設のため所有土地を提供したのに”船取分断”とは認めがたい」等々、全員が「船取線直行」を訴えました。

洪水ハザードマップ想定域外では、初富本町一丁目付近で水害が発生しました。今後は、千葉県の「洪水想定地域」の見直し作業に合わせて、ハザードマップの改訂を行っていくとのこと。

③ 新鎌周辺の「にぎわい」が失われないか？

③ つながらない「防災テレホンサービス」解消に向け、今後増設を行う

県道船取線が「分断」されて一般道路に格下げされ、新たに船橋我孫子バイパス線が「県道」に格上げされるという計画です。鉄道3線が交差する鎌ヶ谷市の中心軸である新鎌ヶ谷駅周辺の「にぎわい・活性力」が失われる危惧を指摘しました。

強風下、防災テレホンサービスが市民に活用されました。推定では1600本以上もの利用があったとのこと。しかし問題なのは、「防テレ」が5回線しか無いため、掛けてもつながらず「テレ不通」が生じてしまったことです。強風下、相当数の市民が、「防災行政無線放送」では聞こえないと、「防テレ」に集中したことがうかがえます。市当局からは「今後回線を大幅に増やす」との答弁がありました。

④ 市北部地区が分断される。

防災テレホン番号

0800-800-2760

～ 人・自転車の直行を！～

④ 台風15号に対して市の緊急動員体制は？

特に市北部地区住民にとって、新鎌・市役所方面への通行路が複雑・長距離の副道に変わり、大変困難となります。「人・自転車が直行できるようにすべきではないか！」との私の質問に対し、市当局からは「横断歩道や立体施設の設置を国や県に強く働きかけ、市民が利用しやすい道路形態となるよう努めてまいります」との前向きな答弁がありました。

台風15号来襲に対して、鎌ヶ谷市は9月8日17時に災害対策本部を設置、120名(最大210名)の職員が緊急配備に着きました。一方、千葉県は9月10日に対策本部を設置、「初動体制の遅れ」との声が殺到。森田知事は自宅への寄り道等も含めて批判されています。

質問を終えて

地球温暖化が”残念ながら”進む中、今後とも海水面の温度上昇などによる「台風の多発化・大型化」が専門家からも指摘されています。そこで市の今後の防災対策のポイントを質問しました。市当局の答弁は、「無駄を恐れず、早い段階での配備態勢で対応します」でした。よく、「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、千葉県がこれほどひどい台風に襲われるとは多くの人々が想像していなかったのではないのでしょうか。鎌ヶ谷市でも馬込沢地区での二和川拡幅工事も進んでいますが、完成までにはまだまだ時間がかかります。「公助」を中心に「自助」も含めて、今後の防災対策を、より一層確実なものにしていきましょう！





# 《北千葉道路と県道船取線の交差点》

## 何が問題点か？

(表面からの続き)

### (1) 県道船取線(赤色)

は、北千葉有料高架道路に遮られて直進できなくなり、歩行者も自転車も車も曲がり角の多い副道(緑色と細赤色)を通行することになります。

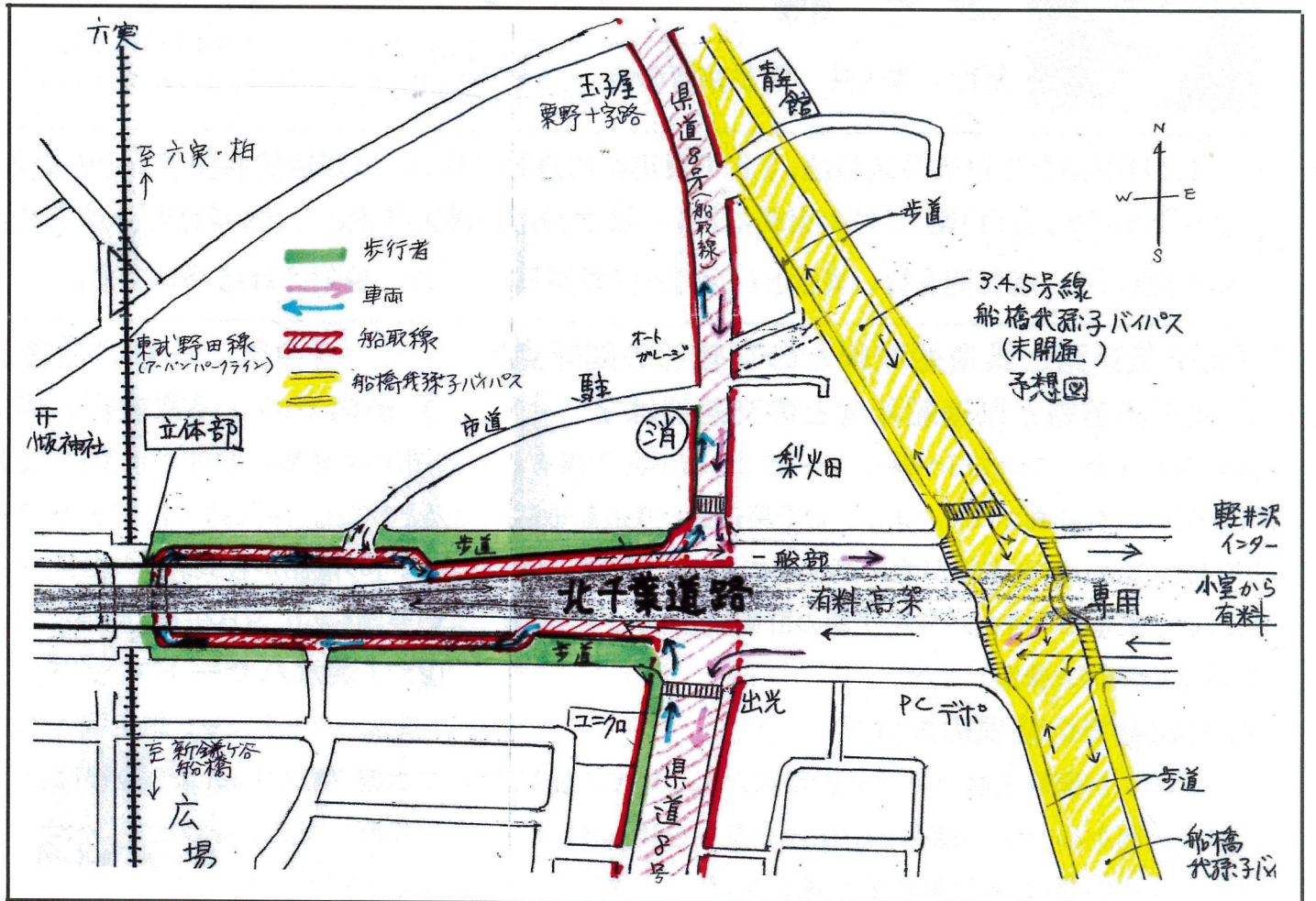
### (2) 市北部地区と新鎌ヶ谷・市役所等の中心部との分断が危惧されます。特に歩行者・自転車は、複雑で距離の長い「副道」を通行させるのでは

なく、現在のように直進できる状態を維持することが必要です。

### (3) 船橋我孫子バイパス線(黄色)は、北千葉有料高架道路の下を立体交差させ、新設予定の延伸部分を北上し、栗野十字路付近で船取本線に合流することになります。

(4) 県道船取線は現行の「県道」から「市道(一般道)」に格下げとなり、新鎌ヶ谷駅周辺の「にぎわい」「活性力」が失われることが危惧されます。

(5) 「北千葉道路計画の推進」では、「地元の声を聴いて進める・・・」との基本方針があり、今後、市民もしっかり声を上げていくことが重要、不可欠です。



### 投稿

## 「部活動中学生の母親の声」 無記名 (鎌ヶ谷市大仏)

先日、ポストに入っていた「共育だより」(第116号 2019年10~11月号)を拝見させて頂きました。私が日頃悩んでいることが目につきました。「(中学生の)部活動～ 週1回、土日(のどちらかを)休む(の項目です)」。

母としても、毎日の仕事の疲れ、土、日、一日位ゆっくり寝たいです。部活のため、朝練習、又朝練習と早起きの日々。毎日バタバタ生活～(です)。子供は部活を終えて帰宅、ある日は先輩の試合の応援参加～、早朝～、夕方迄。帰宅してクタクタ。食事もせず寝込んで、宿題も出来ず、大変な日々が続いています。

プロが目標の方なら特別な場所へ、と思います。学生ですので楽しい部活であって欲しいと願っています。

この件について、ご理解ご協力(を頂き)、一日も早く教育委員会～ 学校側へお伝え頂きたく、部活の母親(皆さんの)声をお伝えしました。ご多忙中、何卒よろしくお願ひ致します。

(※ 文中の( )内文字は共育だより事務局で加筆させて頂きました。)



### 津久井議員の市議会報告会

《日時》 1月26日(日) 13時30分～

《場所》 きらり会館3階会議室

皆さま、お誘い合わせて、お気軽にご参加ください。

問い合わせ先 ☎444-5262 津久井



### 弁護士無料法律相談

《日時》 1月25日(土)・2月29日(土)

3月28日(土)・4月25日(土)

13時～

《場所》 トライ事務所(事前予約制)

問い合わせ先 ☎444-5262 津久井